

立命館生協 ヘルシーキャンパス活動



[健康と安全]

取り組み概要

日時：年間を通した取り組み
組合員の反応：組合員にとって身近な生協店舗の利用などから、健康で安全な生活について考え、行動に移す様子が見られた。

- 背景や概要：総代会での組合員の発言や、同じ想いをもって活動している大学の保健センターとの想いの共有から、年間を通した組合員の健康安全をサポートする取り組みが実施された。

同じ想いをもった別団体との年間を通した取り組み

POINT.1

様々な声から生まれた組合員の健康安全をサポートする活動

立命館生協では「ヘルシーキャンパス活動」と題して、年間を通して組合員の健康安全をサポートする活動を実施しています。この活動は、総代会において発言された日々の食事に関する組合員の声や生協学生委員会の声、学生に健康な食環境を提供したいという生協職員の想い、学生に健康的な生活を送ってほしいという大学の保健センター職員の想いなど、様々な人の声や想いが形となって始まりました。

POINT.2

実施した健康安全の取り組み

立命館生協の食堂のトレーに取り組みの一つが見られます。利用者に主食、主菜、副菜、汁物をバランスよく食べてもらう工夫としてトレーシールを貼ったり、SNSで「CoMenu」や栄養をバランスよく取ることができる組み合わせ提案の発信をしたりすることで、組合員がバランスの良い食事について考えるきっかけとなっています。

また、「朝活チャレンジ」という、期間中に早起きをした学生に抽選で生協ポイントをプレゼントする取り組みや、安価で充実した朝食を提供する「100円朝食」を実施し、組合員の規則正しい生活をサポートしています。期間限定で実施された100円朝食無料WEEKを「朝活チャレンジ」の期間と合わせることで、より多くの組合員の参加につなげる工夫もされていました。

食生活に関する取り組みだけでなく、学内ウォークラリーイベントも実施し、運動という側面からも組合員の健康安全をサポートしています。



POINT.3

今後も一緒に大学をより良くしていくパートナー

立命館生協では、大学の保健センターなど別団体と協力した取り組みを実施していますが、すべて一つの取り組みだけの関係ではありません。今後も協力を継続していくために、お互いの年間計画や活動の想いを共有することで、大学をより良くしていくパートナーの関係を構築しています。同じ想いをもった団体同士がパートナーとして一緒に活動することで活動の幅も広がり、より組合員の健康安全をサポートする取り組みを実施することができます。想いを共有し、互いがパートナーの関係になったことで、共済ボードを掲示してもらい、共済推進をともに実施できる関係性になりました。